

団体名		武蔵野市民防災協会						
①	指 標 名	防災推進員の活動			目 標 値	5,200件	実 績 値	5,293件
	過 去 の 実 績	平成27年度	平成28年度	平成29年度	達 成 率	101.8%	未実施・未達成・ 達成	
	(単位: 件)	5,738	5,020	5,860				
	取 組 内 容	※H30年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①防災タウンウォッチング (2,312) ②コミセンや町内会などの推進員としての活動 (231) ③地域設置消火器の点検活動 (2,167) ④支部会議・支部主催行事等 (88) ⑤防災推進員の研修・各種訓練への参加 (450) ⑥その他 (防災ハンドブックの個別配布) (45)						
	一 次 評 価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ①防災タウンウォッチングが前年度 (2,630) と比較して減少している。これは大阪北部地震の際、ブロック塀が倒れたことを踏まえ、協会の指示により危険箇所調査を行い、1件1件の調査をより丁寧に行ったためである。今後も引き続き調査を行い、4半期毎に報告する。						
二 次 評 価	目標を達成できたことは評価できる。 今後も適時適切に課題に応じて、積極的に活動を行っていただきたい。							
②	指 標 名	斡旋・販売事業			目 標 値	1,400千円	実 績 値	1,929千円
	過 去 の 実 績	平成27年度	平成28年度	平成29年度	達 成 率	137.8%	未実施・未達成・ 達成	
	(単位: 千円)	1,203	1,641	1,395				
	取 組 内 容	※H30年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ・地域の防災関連イベントに参加し、防災対策の普及啓発を目的とした「防災キャラバン」を17回(前年度12回)行い、防災用品の展示・販売を実施することで、市民の防災力向上と販売促進を図った。 ・また、会場においては、市民に浸透が十分ではないと思われる災害時のトイレ啓発を重点的に行った。						
	一 次 評 価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ・大阪北部地震や北海道胆振東部地震の発災、相次ぐ台風の本州上陸による被害などが発生し、防災に対する関心が深まったことに加え、防災キャラバンの回数も前年に比べ増加していることが販売の増加要因と考えられる。今後も引き続き多くの集客性のあるイベントに出店し、啓発と販売実績の向上を目指していく。						
二 次 評 価	イベントへの積極的な参加や販売方法の工夫により、販売実績の向上があったことは評価できる。 引き続き、市と協力しながら、災害時への備えの拡充に努めていただきたい。							
③	指 標 名	職員の研修等への参加			目 標 値	30回	実 績 値	28回
	過 去 の 実 績	平成27年度	平成28年度	平成29年度	達 成 率	93.3%	未実施・ 未達成 ・達成	
	(単位: 回)	21	27	34				
	取 組 内 容	※H30年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 防災に関するセミナー等に参加し、防災に関する知識向上を目指した。 ①第23回震災対策技術展(横浜)で行われたセミナーに参加し、最新の防災製品の情報を収集した。 ②日本赤十字看護大学と共催事業である「地域防災セミナー」に参加し、各方面の識者より、発災時における課題について学んだ。						
	一 次 評 価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ・セミナー等への参加により、参加者と意見交換するなど防災に関する専門的知見を得ることができた。 ・引き続きセミナーに参加し、知見を蓄積するとともに、知見を防災推進員へ展開し、市民の災害対応力向上に繋げていく。						
二 次 評 価	目標をおおむね達成できたことは評価できる。 災害への対応として、市民がどのような知識を持つべきかを研究しながら、職員及び防災推進員の知識向上に努め、市民へ還元いただきたい。							